

わが村は美しく

札幌市編

第十回奨励賞 南区農園ガイドの会



濃厚な甘みの安納イモの畑で収穫をする体験ツアーの参加者。



瀬戸さんの農園で収穫したリンゴから作られた「りんごジュース」は八剣山ファームが製造。

お話をしてくれた人



南区農園ガイドの会 代表
瀬戸 修一 さん

人口約一九七万人の札幌市は、都市の側面ばかり注目されがちだ。一旦、郊外に目を転じれば、集落的に農業地帯を形成している場所がある。札幌の奥座敷・定山溪の手前に位置する南区砥山^{とやま}周辺は、果樹の宝庫だ。

ここで活動をしているのが南区農園ガイドの会。代表の瀬戸^{せと}修一^{しゅういち}さんはこう話す。

「昔は、住宅が密集する札幌の中心部にもリンゴ畑が広がっていました。私が子どものころ、南区は北海道有数のリンゴ産地だったんですよ。それが今ではリンゴ農家戸数が二十数軒に激減。しかも農業地域としての札幌市民の認知度はそれほど高くないことが悩みの種でした」

地域資源を生かした
各種体験プログラム



農園ガイドが地域と観光客の架け橋に。
札幌の果樹園を舞台に
田舎の実家のような心地良さを目指して。

こうした背景を受け、二年間のモニターツアーなどの準備期間を経て、二〇二二年に「南区農園ガイドの会」を設立し、本格的な活動を開始した。

真っ先に取り組んだのは農園ガイドの育成や協力農園の整備だ。地域の農業を知ってもらいたいと、体験プログラムを企画。イチゴ、ハスカップ、サクランボなどの農業体験を中心に、地域の野山をフィールドにした「八剣山^{はっけんざん}山菜ツアー」や「青空コンサート」「オーチャードヨガ」地域農業の現状を知る「エゾシカ食害セミナー」などを開催して地域との交流も促した。

新たな魅力発信のカギとなる
初級バーベキュー検定

特筆すべき活動は、会員自らが「初級BBQ(バーベキュー)

第10回コンクール



参加しよう、広げよう、いいもの伝えよう
「わが村は美しくー北海道」運動

札幌市へは、JR函館本線札幌駅で下車。周辺を散策するなら札幌や新千歳空港の駅レンタカーを利用するのが便利。南区へは路線バスも運行。近くには小金湯温泉や定山溪温泉もあり、日帰り入浴・宿泊も可能。南区農園ガイドの会のツアーやイベント情報は、会のホームページを参考にしてください。
お問い合わせ／☎070-4491-8054



日本バーベキュー協会のメンバーが訪れ開催したバーベキュー検定の様子。



イチゴに始まりサクランボなど春から初夏は果樹のパラダイス。



近くにあるアイヌ文化交流センターのスタッフを招いた鹿笛作り。

ガイドツアーでトウモロコシの収穫を体験。参加する時期によって果樹以外にも体験メニューは豊富。

札幌の音楽家の演奏を屋外で楽しめる。コンサートの後はバーベキューで舌鼓。ちかねの食事タイムへ。

検定(日本バーベキュー協会主催)でインストラクター資格を取得し、瀬戸さんが営む砥山ふれあい果樹園を本拠地に、勉強会などを開催していることだ。

コンセプトは「北海道スタイルのバーベキュー」。鹿肉、サクラマス、アイヌ食材のギョウジャニンニクやハスカップなどにも着目。果樹の花見、旬の農産物収穫体験、青空コンサートなどとBBQを組み合わせた企画が人気を博している。

「昨年は八月に初級検定を開催し、炭火の起こし方、肉の焼き方などの基礎知識から実技まで学び、最後は筆記試験へ。九月にはガイドの会主催で、日本バーベキュー協会から中級インストラクターを招いて『北海道BBQ勉強会』を企画したところ大盛況でした」と瀬戸さん。

また、地元の八剣山ワイナリーやレストランとのコラボ、アイヌ文化交流センターの協力による鹿笛製作も実施。さらに近接する陶芸工房などとも連携して、地域資源を最大限に活用している。

これらの活動によって、一般観光客をはじめ、大学や専門学校、行政職員の研修など幅広い層が訪れている。「将来は農園のみならず、南区の歴史、自然、文化、産業を紹介できるガイド育成を目指します」と瀬戸さんは意欲を見せる。

地域住民によるガイドと地元の事業者が連携して交流人口を増やし、活力のある町づくりを目標にした。積極的に農園に観光客を招き入れ、地域住民とのふれあいを通じて農村の魅力を再発見してもらい、南区のファンを増やすことに注力している。

近年では、鹿による食害や農業者の高齢化、担い手不足による離農など、農園を守るための努力も必要だ。

「体験の中で生産者と交流することにより、まるで田舎の実家に帰ってきたような温かさを感じてもらえるようにしたい」新しい独自の切り口で挑戦するガイドの会の活動から目が離せない。

①



「わが村は美しく北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするために、2001年にスタートしました。2年に1度コンクール形式で優秀な活動を表彰しています。コンクールは1年目に優秀賞、奨励賞を表彰し、2年目に優秀賞から大賞を決定。地域の資源を掘り起こし、地域の活力とすると同時に活動を広くアピールし、豊かな北海道を未来へと受け継いでいくことを目的としています。

お問い合わせ／国土交通省 北海道開発局 農業水産部農業振興課 ☎ 011・709・2311(内線5685)

